

第12番 焼山寺

●徳島県名西郡神山町下分字地中318
☎088-677-0112
●宿坊/なし



第13番 大日寺

●徳島県徳島市一宮町西丁263
☎088-644-0069
●宿坊/あり(要予約)



沿線の見どころ



神山温泉ホテル四季の里 & いやしの湯

西日本屈指の名湯を誇る神山温泉。泉質は重曹を含む塩泉で、神経痛や筋肉痛、冷え性などに良いそう。大浴場には地元で採取された青石の浴槽と、玉石の浴槽があり、男女週替わり。日帰り入浴なら、入浴料と昼会席、休憩室の利用がセットになった「ゆったり昼休憩プラン」(1名4,600円(税別))がおすすすめ。

☞ 徳島県名西郡神山町神領本上角80-2
焼山寺から南東へ11.5km
☎ 088-676-1117
🕒 10:00～21:00(10～3月は～20:00)
🍽 第4火曜(祝日の場合は営業)
👤 入浴のみ大人600円



境内の見どころ



三面大黒天

本堂に向かって左側のお堂に安置されているのは、弘法大師作と伝わる三面大黒天像。これは中央に大黒天、右面に毘沙門天、左面に弁財天と、3つの顔が刻まれている珍しい大黒天。3人の神様が一体化したことで、すべての災いを取り除き、幸福をもたらすとして人々の信仰を集めている。



境内の見どころ



杉の巨木

境内に足を踏み入れてまず驚くのは、杉の巨木の多さである。幹周り5m前後の巨木は県の天然記念物に指定されている。山門付近に約40本、本堂西南に約15本、そして、奥の院に至る山中に100本余りあるという。推定樹齢は約300年にもなり、どっしりとした老木は、焼山寺のシンボルとなっている。



静寂な境内には独特の山の霊気が漂っているようだ

第12番

摩盧山 焼山寺

まるさん しょうじゅいん しょうさんじ

怪しい大蛇の炎に包まれた焼け山

歴史・全体像

もともとは大宝年間に役行者小角が山を開き、蔵王権現を祀って結んだ一本杉庵。この地に修行に訪れた弘法大師が疲れて一本杉庵の杉の木の下で眠っていると、夢の中に阿弥陀如来が現れ、周囲の異変を告げた。目を覚ますと、眼前は火の海。大師が身を清め、真言を唱えながら山を上ると、火は徐々に消えていった。だが9合目あたりまで来ると、岩窟から大蛇が姿を現し、大師の邪魔をしようと向かってきた。その時、光とともに虚空蔵菩薩が現れ、大師はその力を借りて大蛇を封じ込めることができた。そして大師は自ら三面大黒天を彫り、岩窟の上に安置。本尊の虚空蔵菩薩を刻み、焼け山の寺と名付けた。

御詠歌/後の世を思えば恭敬焼山寺
死出や三途の難所ありとも
本尊/虚空蔵菩薩
真言/のうぼう あきやしゃきやらば
や おん ありきやまり ぼり そわか
宗派/高野山真言宗
開基/役行者小角

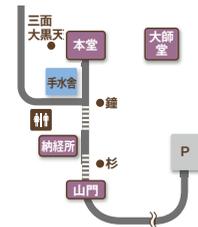


山道の上ってたどり着く本堂は厳か

境内

歩き遍路の昔から、「一に焼山、二にお鶴、三に太龍」といわれ、遍路道の中でも特に難所であった焼山寺。

国道からどンドン細い山道を上ってやっと辿り着く、標高938mの焼山寺山の8合目付近に位置するこの寺は、車で巡礼できるようになった今でも、四国八十八ヶ所霊場の中でもっとも険しいといわれている。11番藤井寺からの遍路道は今も残っているが、そこは徒歩でしか通れず、山道を越えて約6～8時間もかかるというから、車のない時代のお遍路さんの苦勞が偲ばれる。奥の院は境内から歩いて約1kmの距離にあるので、足をのばしてみたい。



文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業/発行:四国遍路日本遺産協議会/制作:(株)エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ 四国遍路を世界遺産に



「四国遍路」巡礼マップ

第12番 焼山寺 ▶ 第13番 大日寺

20.8km ※赤い点線は遍路道の一例です

